

50%が「夢と仕事の時間の両立」のため派遣社員を選択 70%以上がコロナ禍によって夢の実現の活動が「やりづらくなった」 —夢を追いかける派遣社員の調査結果発表—

総合人材サービスの株式会社ウィルオブ・ワーク（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：告野 崇）は、一般財団法人WILLOF財団（所在地：東京都新宿区、代表理事：告野 崇、以下ウィルオブ財団）を設立しました。9月1日（水）の第1期公募の開始に伴い、“夢を追いかける派遣社員”100名を対象に「派遣社員の夢に関する調査」を実施しました。

■ウィルオブ財団設立と公募開始についてのリリースはこちら

URL：<https://willof-work.co.jp/corp/news/13232/>

【調査結果サマリー】

- ・50%が「夢と仕事の時間の両立」のために派遣社員を選択
- ・「夢」の活動で得た年収は「100万円未満」が77%。ダブルワークは欠かせない
- ・72%がコロナ禍によって夢の実現の活動が「やりづらくなった」

【調査概要】

調査概要：派遣社員の夢に関する調査

調査方法：インターネット調査

調査期間：2021年8月20日～同年8月24日

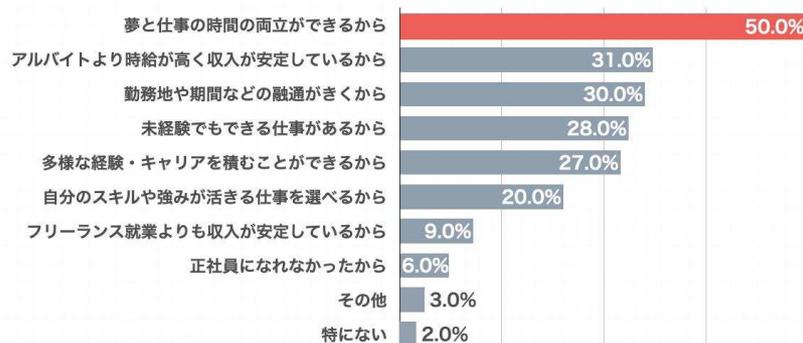
有効回答：派遣社員として働きながら、夢の実現も本気で取り組んでいる20歳～35歳の男女100名

“夢を追う派遣社員”の50%が「夢と仕事の時間の両立」を目的に派遣を選択

なぜ派遣社員を選んだかの問いに50%が「夢と仕事の両立ができるから」と回答しました。「正社員になれなかったから」と答えた人は6%と非常に少なく、「アルバイトよりも時給が高く収入が安定しているから」「勤務地や期間などの融通がきくから」を30%以上が選択するなど、夢実現のため派遣社員という働き方をポジティブに選択していることがわかりました。

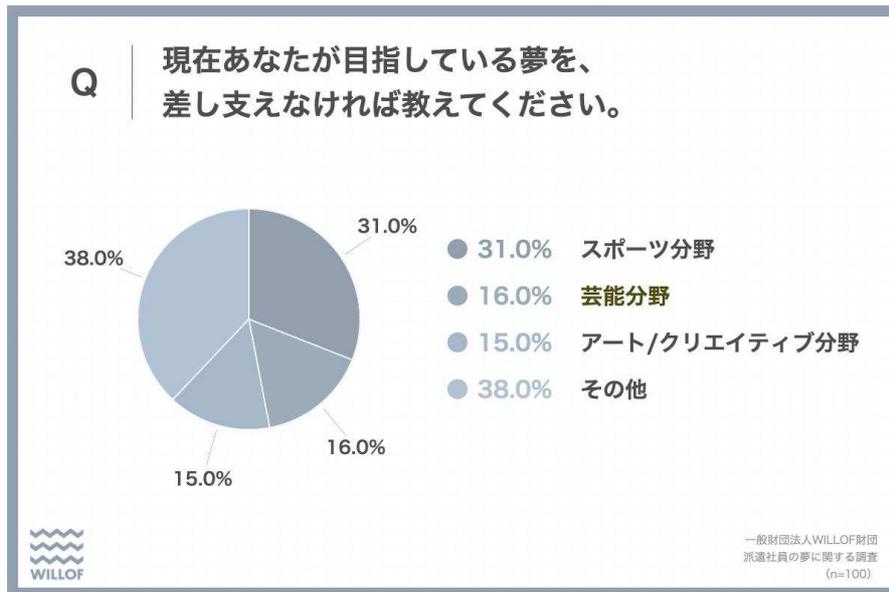
Q

あなたが、派遣社員という雇用形態を選択している理由を教えてください。



「叶えたい夢」1位がスポーツ分野、次いで芸能、アート / クリエイティブ

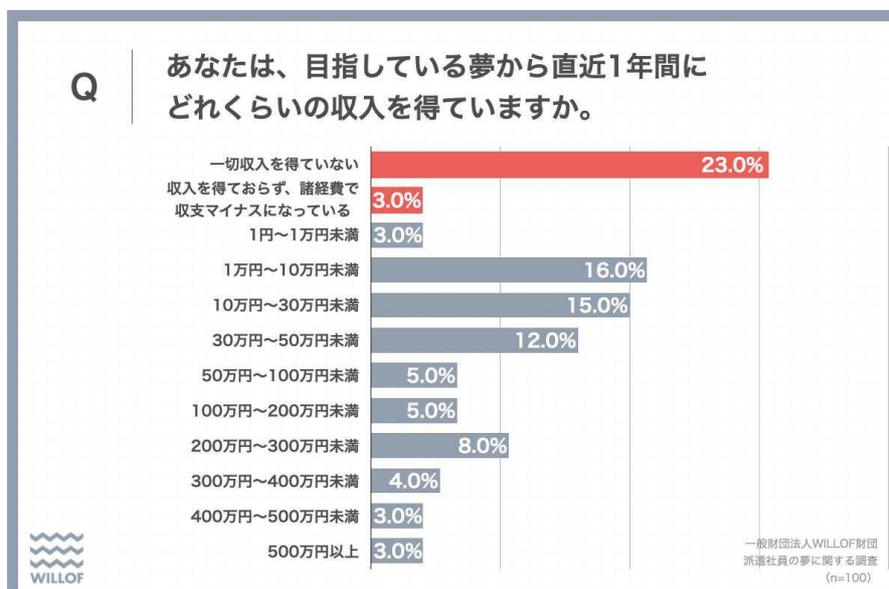
目指している「夢」について具体的に聞いたところ、1位が「プロサーファー」「プロゴルファー」などスポーツ分野（31%）、次いで「プロダンサー」「バンドマン」「声優」など芸能分野（16%）、3位が「デザイナー」「映像クリエイター」などアート・クリエイティブ分野（15%）となりました。



「夢」の活動で得た年収は「100万円未満」が77%。ダブルワークは欠かせない

「夢」の活動で得た直近1年間の収入を聞いたところ、「無収入（またはマイナス）」～「100万円未満」という回答が77%で、特に「無収入（またはマイナス）」の方は全体の26%となりました。

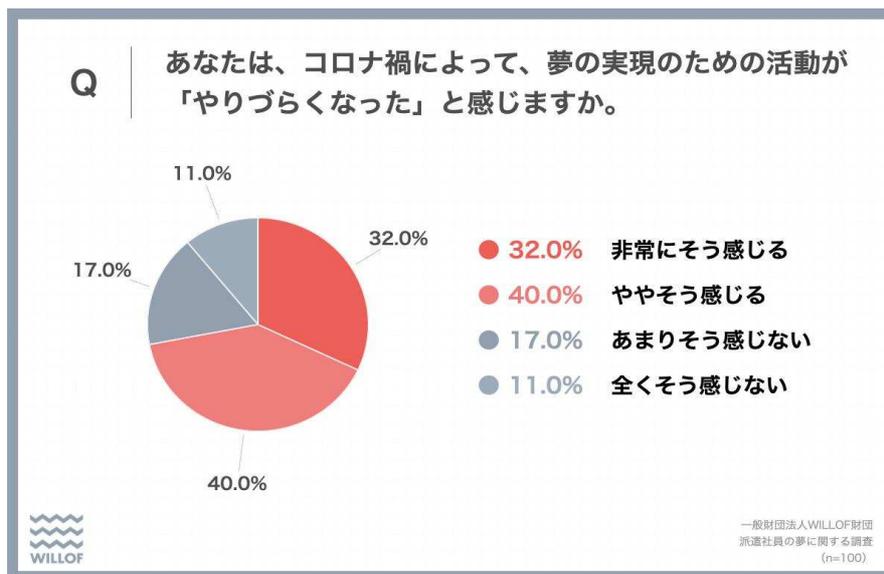
一方、300万円以上の年収を得ている人は10%で、派遣社員としての収入をベースに、多様な働き方をしていることがわかります。



2021年9月1日
株式会社ウィルオブ・ワーク

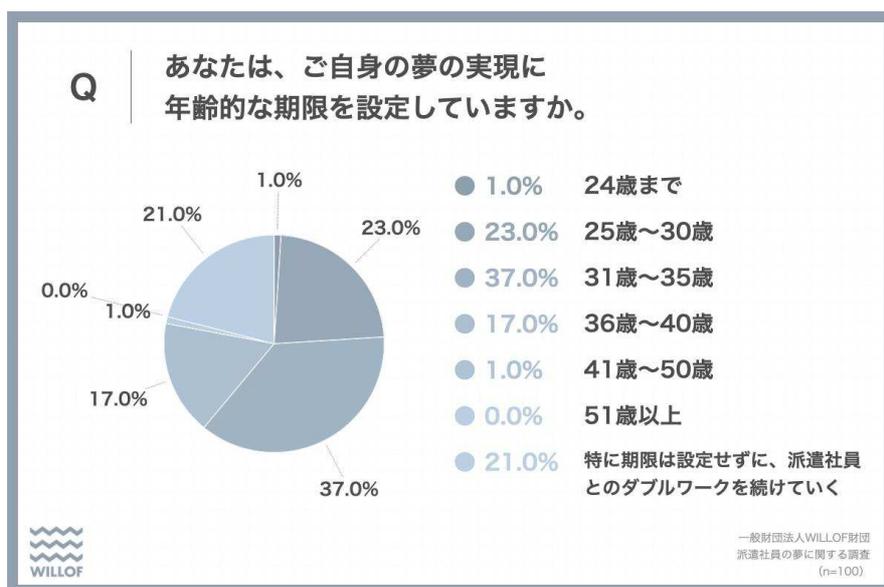
72%がコロナ禍によって夢の実現の活動が「やりづらくなった」

コロナ禍によって、夢の実現のための活動が「やりづらくなった」と答えた人は「非常に感じる」「ややそう感じる」をあわせて72%となりました。その理由については、スポーツ分野の夢を追う方は試合や練習、芸能・芸術分野の夢を追う方は、表現の場そのものの消失などを挙げていました。



「夢」に期限を設定しているか？“30代がリミット”が54%

「夢」の年齢的な期限について「設定しているか」を聞いたところ、37%が31～35歳を選択。「40歳まで」を含むと54%が30代の内になんらかの選択を考えていることがわかります。一方、「特に期限は設定せずにダブルワークを続けたい」という人は21%となりました。



【本リリースに関するお問合せ先】
株式会社 ウィルオブ・ワーク

広報担当：仁科（にしな）、新元（にいもと） <https://willof-work.co.jp/>
〒163-0455 東京都新宿区西新宿二丁目1番1号 新宿三井ビルディング55階
TEL: 03-6894-2035 FAX: 03-6894-2040 MAIL: pr@willof.co.jp